

講演者及びパネリストプロフィール

< 講演者 >

ダグマー・ハイム (Dr. Dagmar Heim)

スイス連邦獣医局TSE調整官

ベルリン自由大学獣医学部卒業後、ウィルス学免疫予防学研究所及びベルン大学神経学研究所において、動物の神経性疾患に関する遡及的疫学研究を行う。獣医学博士。

ウィルス学免疫学予防学研究所で家畜衛生サーベイランスデータの評価に従事。1996年6月からスイス連邦獣医局TSE調整官。伝達性海綿状脳症組織に関わる研究について統括しており、また、諸外国政府機関やNGO組織との調整役として活躍している。1999年からOIEのBSE特別委員会の委員やEFSAのGBR(地理的BSEリスク)作業部会等、BSEに関する多くの国際的な研究について委員等を務め、活躍している。TSEおよびBSEに関する疫学調査論文、リスク評価およびリスク管理に関する著書多数。

< コーディネーター >

のむら かずまさ
野村 一正

食品安全委員会委員

1970年時事通信社入社、経済部で、官庁や家電業界、鉄鋼業界、運輸業界などの民間業界取材を担当。1989年から「農林経済」編集長、1998年から編集局編集委員を経て、2001年から2006年7月まで解説委員兼整理部長。

葉たばこ審議会委員、水産政策審議会委員、食料・農業・農村政策審議会統計部会臨時委員、「食」と「農」の連携強化検討会委員、新たな需給調整システムへの移行の検証に関する検討会委員、バイオマス・ニッポン総合戦略推進アドバイザーグループ委員などを歴任、2006年7月から現職。

< パネリスト (講演者を除く) >

さ さ き た ま み
佐々木 珠美

日本生活協同組合連合会 食の安全・エネルギー問題担当部長

日本生活協同組合連合会 組織推進本部 食の安全・エネルギー問題担当部長

北海道大学薬学部卒業後、北海道大学生協同組合、北海道生活協同組合連合会、生活協同組合コープさっぽろを経て、1992年から日本生活協同組合商品検査センターに勤務し、一貫して食品の分析や検査を担当。商品検査部長、商品検査センター長を経て2005年か

食品に関するリスクコミュニケーション(東京)

- 世界におけるBSEリスクとその評価について -

ら現職。

現在、食品安全委員会企画専門調査会専門委員、食品安全委員会食品健康影響評価技術研究運営委員会委員、農林水産省農業資材審議会委員(農薬分科会)、農林水産省独立行政法人評価委員会専門委員(農業分科会)。

た が や やすはる
多賀谷 保治 (社)日本フードサービス協会 BSE 対策実行委員会委員

株式会社吉野家ディー・アンド・シー 企画室 部長

一橋大学商学部卒業後、総合商社に入社し畜産・食肉の輸入を中心に担当。

2001年株式会社吉野家ディー・アンド・シーに入社、食肉の仕入れを担当し、日本でのBSE発生後、世界の牛肉事情を調査。2003年12月に米国でBSEが発生し、輸入停止後、BSE問題を担当。

か ね こ きよとし
金子 清俊 東京医科大学医学部神経生理学講座主任教授

1983年、新潟大学医学部医学科卒業。1992年、新潟大学医学博士。東京医科歯科大学神経内科学教室医員等を経てプリオンタンパク研究へ。カリフォルニア大学サンフランシスコ校神経内科学教室アシスタントプロフェッサー等を経て1999年から国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第7部長、2005年から現職。

現在、厚生労働省伝達性海綿状脳症対策調査会調査員、農林水産省食料・農業・農村政策審議会、農林水産省技術高度化事業専門評価委員、独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員等を務める。